

## 送辞

先日までの肌を刺すような冷気が、いつの間にか柔らかく暖かい風になりました。この春の訪れを感じる今日の良き日に、新たな門出を迎えられる皆様、ご卒業おめでとうございます。晴れて東雲を旅立たれる皆様に、在学生を代表してお祝いの言葉を申し上げます。

今、皆様の脳裏には、この東雲で過ごした二年間、また四年間の思い出が、次々と蘇っているのではないのでしょうか。新型コロナウイルスの影響で、思い描いていた学生生活とは全く違った形の学生生活。友達を作ることや会うこともできず、大学行事の中止や部活動・対外試合の中止など、苦しい時間を過ごされたことと思います。私もそうでした。しかし、皆様は、初めてのオンライン授業に戸惑いながらも、次々に出される課題をこなし、資格のための実習もいろいろな制約の中で頑張ってきてくれました。私は、学生会の活動を通して、先輩方が後輩たちのことを考え、状況を見ながら後輩を引っ張る姿を見、実習のメンター指導では真剣に指導してくださる姿を見て、安心感と共に、憧れを抱きました。その背中を一生懸命に追いかけてきました。

皆様はこれから社会の中で、きつと今までにない程のプレッシャーや不安を抱え、時には、泣きたくなるくらい辛いことや、逃げ出したくなることに遭遇すると思います。

しかし、そのような時は、この東雲でのことを思い出してみてください。そして、また大学に遊びに来てください。先輩方の背中を見ている私たちがいます。温かく導き見守ってください。先生方、学生生活を支えて下さった職員の方々も笑顔で迎えてくださると思います。今度は私たちが憧れの背中になれるよう、また、皆様作り上げた東雲を守るよう、より一層精進してまいります。

皆様が、この二年間また四年間を乗り越えられた自信と、明日へ

の希望を持って、これからの人生を進んでいかれるよう、心からお祈りしています。

名残は尽きませんが、皆様のご健勝と今後のさらなるご活躍をお祈りして、送辞とさせていただきます。

令和四年三月十一日

在校生代表 小幡 詩音